

## 「アトムがわが家にやってくる！」

2017/2/22 (火)、「ATOM プロジェクト」始動！  
講談社、手塚プロダクション、NTT ドコモ、富士ソフト、VAIO は  
「日本初の本格的キャラクターロボット・ATOM」の  
開発プロジェクトをスタートします。

株式会社講談社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：野間省伸）と、株式会社手塚プロダクション（本社：東京都新宿区、代表取締役：松谷孝征）、株式会社 NTT ドコモ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：吉澤和弘）、富士ソフト株式会社（本社：神奈川県横浜市中区、代表取締役社長執行役員：坂下智保）、VAIO 株式会社（本社：長野県安曇野市、代表取締役：大田義実）の5社は、来るべきAI時代に対応するため、日本の科学技術の象徴であり、長く人々から愛され夢を与えてきた“日本を代表するロボット・キャラクター”「鉄腕アトム」を目指し、「ATOM プロジェクト」を開始いたします。コミュニケーション・ロボット「ATOM」は、発話し二足歩行しクラウドで成長する「日本初の進化する本格的なキャラクター型コミュニケーション・ロボット」で、世界的に有名なコミック&アニメ、手塚治虫の『鉄腕アトム』をモデルにしています。「ATOM プロジェクト」は、各社の強みを生かし鉄腕アトムの世界観をベースに、ロボットという新しいエンターテインメント・デバイスの可能性を開拓し、発話コンテンツの研究・開発をあわせて進め、“一家に一台”の進化する家庭用ロボットの普及を目指してまいります。



### ■日本初の本格的キャラクターロボットに5社の強みを結集して 「ATOMプロジェクト」を始動。まず、今年4月パートワークとして発売します

プロジェクト第一弾となる『コミュニケーション・ロボット 週刊 鉄腕アトムを作ろう！』では、手塚プロダクション監修により、鉄腕アトムを元にモデリングを行ったロボット=ATOM をユーザーが組み上げるパートワークを今年4月4日より、発売いたします。ロボティクスおよび、ロボットに搭載するOSとAIを富士ソフトが設計開発。ハードウェアの信頼性でも、これまでになく高いレベルを目指しています。そしてATOM本体のAIはインターネット経由でNTTドコモの自然対話プラットフォームと接続。クラウド上での「成長する会話力」をNTTドコモと講談社の共同開発で実現します。VAIO株式会社は、ATOM本体で使用している電気系統のメインボードなどの基板実装（製造）や

## ■2月22日(水) 5社共同プレスリリース■

「ATOM 組み立て代行サービス」を担当。会話のもとになるシナリオモデルの作成、出版コンテンツの開発、全体の企画、プロデュース、販売は講談社が担当し、5社それぞれの強みを活かしてキャラクターロボット「ATOM」を作りあげ、まずパートワークとして創刊。「ATOM」を組み立て、完成させるユーザーやその家族のために、コミュニケーション・ロボット「ATOM」は、2018年9月、完成・誕生いたします。

### ■キャラクター性、自然対話、エンターテインメント。

#### ～全体企画・プロデュースで大切にしたい ATOMプロジェクト、3つのキーワード

講談社の1世紀以上に及ぶ歴史のなかで生まれた雑誌や書籍、コミックなどの出版物は、常に、読者に焦点を定めてつくられてきました。IoT<sup>\*1</sup>を始めとする AIT<sup>\*2</sup>が注目を浴びる現在も、またこれからも、私たちはこれまでのスタンスを大切に考えます。そこで、ATOM プロジェクトでは「キャラクター性」「自然対話」「エンターテインメント」を3つのキーワードとして設定しました。親しみやすく、おもしろい。おもしろくて、ためになる。これからも変わらぬ目標のもと、新たな可能性を探って参ります。

### ●「手塚治虫生誕 90 周年記念企画」として位置づけ。

#### ATOMの外観=モデリングは手塚プロダクションの監修で完成

この企画は、「手塚治虫生誕 90 周年記念企画」として発売されます。鉄腕アトムの子の親、手塚治虫先生のキャラクターデザインを再現するため、ATOM のモデリングでは手塚プロダクションが全面協力。「鉄腕アトム」の DNA がロボット「ATOM」のモデリングに生きています。微妙な三次元曲面を再現するため、手作りの粘土塑像から CAD データを起こし、可愛らしい表情を生み出しました。

### ■成長する会話力を実現

#### ～富士ソフトのフロントエンド AI と、NTT ドコモのクラウド AI

ATOM 本体の設計開発にあたった富士ソフトの「フロントエンド AI」は、8年に及ぶ高齢者施設などでの実績あるコミュニケーション・ロボット「PALRO (パルロ)」<sup>\*3</sup>の技術です。今回、「ATOM」はそのソフトウェアを共有。顔認識で家族や友達 12 人までを認識し、リアルタイムで人の表情に反応し、親和性の高い濃密なコミュニケーションを実現します。ATOM 本体がわからない言葉だと分析した場合は、音声認識でテキスト化された後クラウドへ移行し、累計 17 億件以上の情報処理を行っている NTT ドコモの「しゃべってコンシェル®」<sup>\*4</sup>の基盤技術を生かした「自然対話プラットフォーム」での対応を行います。これら一連の流れが、「ATOM」と付き合えば付き合うほど変化し、成長する会話力。この実現を目指して、各社の強みを結集します。

### ■ATOMの心臓であり、頭脳でもあるメインボードはVAIOが製造

そんな ATOM に使用している電気系統のメインボードなどの基板実装（製造）を担当したのは、VAIO<sup>\*5</sup>です。プロジェクト第一弾となる『コミュニケーション・ロボット 週刊 鉄腕アトムを作ろう！』では、ロボット製造で実績のある同社の安曇野工場、組み立ての苦手な方のための「ATOM 組み立て代行サービス」（全 70 号一括のみ）<sup>\*6</sup>も担当します。

### ■ハードウェアとソフトウェア、両面でプロジェクトを展開予定

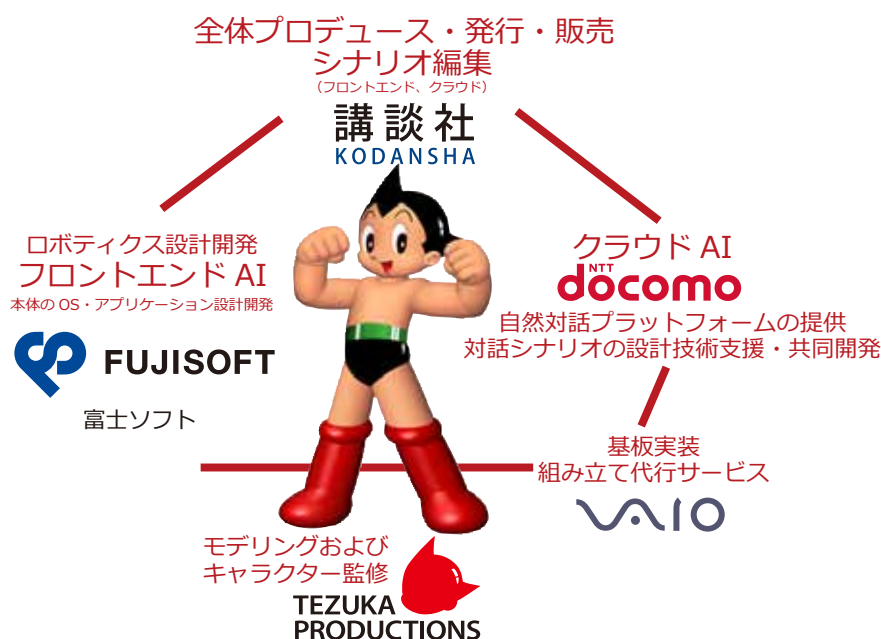
パートワーク版 ATOM からスタートする「ATOMプロジェクト」は、講談社を中心に、新たなロボット端末から Bot AI などの新たなアプリケーションソフトウェアまで、ハードウェアとソフトウェア両面で展開を進めて参ります。今後の「ATOMプロジェクト」の展開にご期待ください。

# ■2月22日(水) 5社共同プレスリリース■

## ATOMプロジェクトに関する各社役割など

### 各社の役割

講 談 社	1. 企画・全体プロデュース・発行・販売 2. シナリオ編集・コーパス（辞書）の作成 3. 発話対応の出版コンテンツ開発
手塚プロダクション	1. モデリングおよびキャラクター監修 2. 誌面 企画協力・監修
NTTドコモ	1. 自然対話プラットフォームの提供 2. 対話シナリオの設計技術支援・共同開発
富士ソフト	1. ロボティクス設計開発 2. ATOM 本体に搭載されるOSとフロントエンドAIの開発 3. 各種アプリケーションの設計開発
VAIO	1. メインボードなどの基板実装 2. 「ATOM 組み立て代行サービス」担当



\*パートワークの詳細は、講談社のプレスリリースをご覧ください。

※1 IoT Internet of Things ※2 AIT Advanced Information Technology ※3 PALRO は富士ソフト株式会社の商標または登録商標です。  
※4 シャベってコンシェルは株式会社 NTT ドコモの登録商標です。 ※5 “VAIO”、VAIO の登録商標： <http://vaio.com/products/trademark/>  
※6 受付窓口は「講談社 ONLINE STORE」フリーダイヤル 0120-221-322 <https://kodanshaonlinestore.jp/questionnaire/adaiko> まで。

#### 【報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社講談社 広報室 ☎03-5395-3410

株式会社手塚プロダクションクリエイティブ部 ☎03-3371-6428

株式会社 NTT ドコモ 広報部 外村・富田 ☎03-5156-1366

富士ソフト株式会社 コーポレートコミュニケーション部 久下・西元 ☎050-3000-2735

VAIO 株式会社 広報担当 遠藤・椎木 ☎03-6420-0960